



山梨大学大学院総合研究部（工学域）

地域防災・マネジメント研究センター

Disaster and Environmentally Sustainable administration REsearch center, University of Yamanashi

プレス発表資料

平成30年12月14日

各報道機関 御中

防災シンポジウム「真備町の教訓を甲府盆地の広域避難に生かす」について

本学地域防災・マネジメント研究センターでは、これまで災害時における避難などソフト対策を中心に研究してまいりました。今年は西日本豪雨災害など各地で水害が発生しましたが、甲府盆地でも同様の水害が起きる可能性があり、今後更なるソフト対策の向上が求められます。

本学ではこの度、下記の通りシンポジウムを開催します。西日本豪雨災害に遭遇された高知県立大学大学院・神原咲子教授（専門：災害看護）をお招きして基調講演をいただくとともに、国土交通省・山梨県・中央市・本学が一堂に会して、広域避難をテーマにパネルディスカッションを行います。

つきましては、当イベントを多くの方に知っていただくためにも、イベント情報欄等でご紹介のほどお願い申し上げます。また、当日の取材もよろしくお願い申し上げます。

記

【日時】平成30年12月25日（火）13：30～16：10（13：00受付開始）

【場所】山梨県立図書館 2階 多目的ホール（甲府市北口2-8-1）

【日程】基調講演

神原咲子 高知県立大学大学院教授「水害時における避難者の特徴と健康支援活動」

パネルディスカッション

神原咲子 高知県立大学大学院教授

安谷 覚 国土交通省甲府河川国道事務所長

若林一紀 山梨県防災局長

田中久雄 中央市長

新海一芳 中央市リバーサイド第3自治会長

鈴木猛康 本学地域防災・マネジメント研究センター長

末次忠司 同 副センター長（コーディネーター）

■内容に関するお問い合わせ先
山梨大学地域防災・マネジメント研究センター
副センター長・教授 末次忠司
TEL：055-220-8522
E-mail：tsuetsugi@yamanashi.ac.jp

■広報担当
山梨大学総務部総務課広報企画室
TEL：055-220-8006 FAX：055-220-8799
E-mail：koho@yamanashi.ac.jp

参加費 無料・申込不要

防災シンポジウム 真備町の教訓を甲府盆地の 広域避難に生かす

日時 平成 30 年

12月25日(火)

13:30～16:10

(受付開始時間 13:00～)

会場

山梨県立図書館 2階多目的ホール

山梨県甲府市北口2丁目11

本年7月に発生した西日本豪雨災害で被災した真備町は、地形的に甲府盆地のミニチュアと言えます。したがって、真備町の水害は山梨県民にとって他人事ではありません。防災意識の低い県民性、最近の低い避難率、甲府盆地が真備町の10倍以上の浸水人口・面積であることを考えると、対策がなければ大規模洪水時には甲府盆地では多くの犠牲者が発生することになります。

そこで、真備町で被災経験をされた高知県立大学大学院の神原教授に基調講演をして頂き、被災地の現状をご紹介いただくとともに、大学、国土交通省、山梨県、県内市町村、地区住民などが参加して、甲府盆地の広域避難、今後の洪水対策のあり方について、ソフト、ハード対策の両面から議論を行いたいと思います。住民・行政を問わず、多くの県民の皆様の参加をお願い致します。

基調講演

「水害時における避難者の 特徴と健康支援活動」



高知県立大学大学院教授
神原 咲子 先生

専門は災害看護。真備町の実家で西日本豪雨に遭遇。被災者のために「これから手帳」を制作。国内外で精力的に活動。災害に関する健康リスクを減らす減災ケアを提唱。

パネルディスカッション

「真備町の教訓を甲府盆地の広域避難に生かす」

パネリスト

パネリスト

パネリスト

パネリスト

パネリスト

パネリスト

コーディネーター



神原 咲子 氏
高知県立大学
大学院教授



安谷 覚 氏
国土交通省
甲府河川国道事務所長



若林 一紀 氏
山梨県防災局長



田中 久雄 氏
中央市長



新海 一芳 氏
中央市リバーサイド
第3自治会長



鈴木 猛康 氏
山梨大学地域防災・マネジ
メント研究センターセンター長



末次 忠司 氏
山梨大学地域防災・マネジ
メント研究センター副センター長

主催：山梨大学地域防災マネジメント研究センター 後援：国土交通省甲府河川国道事務所、山梨県
お問合せ：山梨大学 土木環境工学科 防災研究室 Tel: 055-220-8531